

事務局報告

1. 平成 22 年度 前期理事会および All About SWINE 編集委員会

平成 22 年 11 月 2 日(火)午前 ホテル KKR 東京 会議室にて理事会を開催した。

出席者(順不同,敬称略);井上忠恕,波岡茂郎,赤池洋二,名越仁宣,小林秀樹,山本孝史,三宅真佐男,鈴木隆春,櫻井 忠,齊藤政宏,山岸和重,真原隆治,鈴木吾郎,家入誠二(代理清水隆夫),小林一彦(事務局)

審議事項 平成 21 年度事業ならびに決算報告,平成 22 年度事業計画予算案,講演料および講演者の旅費に関する内規の変更,理事変更について討議されそれぞれ理事会で承認した。審議事項 , , は原案通り当日午後の総会に諮ることとした。

第 21 回研究会講演内容についても検討され,理事代表によるワーキンググループによりさらに内容を詰めることとし,事務局がその開催を計画することとなった。

編集委員会では,All About SWINE の次号を例年年 2 回の会誌刊行を考慮して,37 号・38 号の合併号とすることとした。

2. 平成 22 年度 定期総会

平成 22 年 11 月 2 日(火)午後 ホテル KKR 東京にて定期総会を開催した。

ご来賓 動物衛生研究所 濱岡隆文所長のご祝辞の後,総会議事に移った。

小林副会長を議長に選出し,平成 21 年度事業報告,同決算報告,平成 22 年度事業計画・予算案および理事変更について事務局の説明に基づき

審議され,いずれも理事会の原案通り承認された。

1) 平成 21 年度事業報告

前期定期理事会を平成 21 年 6 月 26 日東大山上会館で開催。平成 20 年度日本 SPF 豚協会年次報告(日本 SPF 豚協会 藤田世秀),食用以外に利用される豚について(日本生物科学研究所 齋藤敏樹),アニマルウェルフェアの考え方に対応した豚の飼養管理指針について(農林水産省 菅谷公平),アニマルウェルフェアから見たブタの行動と快適な飼育環境(茨城大学 小針大助)の 4 題の講演が行われた。

平成 21 年 11 月 5 日 後期定期理事会を開催。

平成 22 年 1 月 当会のホームページを開設し,ウェブ上で会誌バックナンバーを閲覧可能にした。

平成 21 年 9 月と平成 22 年 2 月に All About SWINE 35 号,36 号を刊行した。

2) 平成 21 年度決算報告 (別表参照)

3) 平成 22 年度事業計画

宮崎での口蹄疫発生とその対応を考慮し,理事会(稟議)で 6 月開催を 11 月に延期し,11 月 2 日(火)ホテル KKR 東京にて日本 SPF 豚協会と合同でセミナーを開催することとした。

同日午前理事会開催,同日午後 定期総会,研究会を同場所にて開催。

平成 23 年 2 月に All About SWINE 37 号,38 号合併号を刊行予定。

4) 平成 22 年度予算案 (別表参照)

5) 理事変更,監事交替

退任理事 相馬由和氏

新任理事 真原隆治氏

(茨城県畜産センター 養豚研究所)

退任監事 高橋吉男氏

新任監事 齊藤政宏氏

(家畜改良センター 茨城牧場)

3. 日本 SPF 豚協会・日本 SPF 豚研究会合同セミナー (第 20 回日本 SPF 豚研究会)

以下 4 題の講演と日本 SPF 豚協会の生産成績優秀 CM 農場表彰式を行った。

「日本における SPF 豚生産システムと SPF 豚農場認定制度」(柏崎 守氏 SPF 豚農場認定委員会), 「平成 21 年度認定農場の生産成績年次報告」(藤田世秀氏 日本 SPF 豚協会), 「北海道の SPF・CM 農場とともに歩んだ 20 年 ホクレン

SPF 豚ピラミッド」(岩瀬俊雄氏 ホクレン農業協同組合生産振興部), 「豚サーコウイルス 2 型関連疾患とワクチンおよび農場バイオセキュリティによる農場内コントロール」(出口栄三郎 鹿児島大学), 生産成績優秀 CM 農場表彰式, 総合生産成績最優秀農場および商品化頭数最優秀農場表彰(青木ビッグファーム会長 青木昇氏, ホクレンピラミッド), 青木ビッグファームは総合成績で 3 年連続, 商品化頭数で 2 年連続となり, 昨年に続いて 2 冠達成。

講演の内容は All About SWINE 37・38 合併号に掲載予定。 / 以上

平成 21 年度決算報告書

日本 S P F 豚研究会
平成 22 年 4 月 30 日

	21 年度予算額 (円)	21 年度決算額 (円)	備 考
(収入の部)			
前年度繰越分	1,190,560	1,190,560	
会費正会員	500,000	428,000	
会員賛助会員	200,000	220,000	11社(秋田食肉加入)
広告料	700,000	921,376	AAS 34, 35 号分
預金利息	10	5	
雑収入	10,000	156,000	研究会参加費, APVS 準備金戻り
収入合計	2,600,570	2,915,941	
(支出の部)			
会誌原稿料	300,000	256,200	AAS 35, 36 号分
会誌編集料	120,000	120,000	同
会誌印刷代・送料	600,000	610,945	同
講演会謝礼	60,000	40,000	2名
研究会開催費	120,000	120,260	第19回研究会, 施設使用料, お茶ほか
会議費	90,000	85,826	施設使用料, 弁当代など
通信費	35,000	31,900	切手, 現金書留など
事務費	40,000	25,320	コピー代, ラベル代
ホームページ作成費	300,000	7,170	プロバイダー, ドメイン契約料
雑費	10,000	39,817	振込手数料, 懇親会不足補助など
予備費	925,570	0	
(支出小計)	2,600,570	1,337,438	
次年度繰越金	0	1,578,503	
支出合計	2,600,570	2,915,941	

* 研究会開催基金として 1,500 千円を別会計とする。
 会計監査の結果収支が適正であったことを認めます。
 平成 22 年 6 月 3 日

監査 齊藤 政宏 

上記以外に未収金として ￥421,313 - (2月発行 AAS38号分広告料)があります。

平成 22 年度予算

日本SPF豚研究会
平成 22 年 11 月 2 日

	22 年度予算額 (円)	備 考
(収入の部)		
前年度繰越分	1,578,503	
年会費正会員	440,000	220 名
会員賛助会員	220,000	11 社
広告料	421,313	AAS No.36 号分
利息	5	
雑収入	10,000	
収入合計	2,669,821	
(支出の部)		
会誌原稿料	150,000	AAS No.37, 38 号
会誌編集料	60,000	同
会誌印刷代・送料	300,000	同
講演会謝礼	160,000	
研究会開催費	350,000	第 20 回研究会 合同セミナー
会議費	90,000	
通信費	35,000	
事務費	250,000	専用 PC ソフト HP 管理費
雑費	10,000	
予備費	1,264,821	
(支出小計)	2,669,821	
次年度繰越金	0	
支出合計	2,669,821	

* 研究会開催基金として 1,500 千円を別会計とする。

* 科目間の流用を認める。